

日本選挙学会 2004年度第3回理事会議事録

日 時：2004年12月4日（土）15：00～18：00
場 所：東京大学 本郷キャンパス 法文二号館2階 教員談話室

議 題：

（第2回議事録および入会申込書の回覧）

1. 各委員会の活動状況について

①企画委員会

川人委員長から2005年度研究会の企画について報告された（別紙資料あり）

- ・12企画が実施される予定であるが、ほとんどの企画で司会・報告・討論者が決定済みである
- ・企画数が例年より多いため、比較I、理論部会で企画委員が報告者となった
- ・公募に対して9件10の応募があったが、うち1件の企画を採用（国政部会）し、1件（2応募）を分科会に割り当て、7件をポスターセッションでの報告とした
- ・12月発送予定のニューズレターでポスターセッションの追加募集をすることとした（1月末締切）
- ・韓国政治学会から、比較部会での報告者を1名派遣してもらえるよう10月に依頼した
- ・報告者の会費納入状況を確認する必要がある旨、指摘があった
- ・非会員の報告者については、企画委員会を通して、非会員の報告者に入会を呼びかけることとなった。
- ・非会員の報告者の報告論文は開催校で100部印刷することとしてきたが、報告論文の印刷については原則として報告者をお願いすることとし、事情がある場合は企画委員会を通じて対応することとなった
- ・あわせて報告論文が用意されない場合は報告を認めないこと、非会員の報告者には今後も謝礼を支払うことが確認された

②年報編集委員会

岩淵副委員長から年報20号、紀要3号、4号の進捗状況について報告があった（別紙資料あり）

- ・年報20号は、2005年2月末の刊行に向けて順調に進行中である
- ・紀要3号は11月中に刊行予定であったが作業が遅れ、12/7完成予定である（奥付は11月とする）
- ・紀要4号には6本の投稿があり、現在、査読者を選考中である（2005年5月刊行予定）
- ・12月発送予定のニューズレターで、年報21号、紀要5号への投稿を募る予定である。なお、紀要については、編集者への過度の負担を避けるため、書式設定済みのワード・ファイルによる提出を求めることとする（理事会で承認）

③文献委員会

桑原委員長欠席のため、事務局から2004年度の業績調査について報告があった（別紙資料あり）

- ・2004年12月発送予定のニューズレターに、業績調査票を同封する予定である
- ・今年度から、学会のホームページから調査票（エクセル・ワード）をダウンロードし、そちらに記入し提出できるようにした。

④選挙管理委員会

2 選挙規程変更の実施要領について

池田理事長から、理事・幹事候補者選出規程の改定について提案があった（別紙資料あり）

●第5条5（2名の候補者を選挙人が記入する際の具体的方法）について

- ・1票は年齢別投票とする。会員の自己申告による年齢によって上下に二分し、自らの属する年齢層において、その年齢層の会員で被選挙人名簿に掲載されている会員の1名を候補者として投票する（年長者選挙区、年少者選挙区）
- ・1票は一般投票とする。被選挙人名簿に掲載されている全会員の中から1名を候補者として投票する（一般選挙区）
- ・開票に際しては、一般投票での得票を優先する。一般投票で得票順に10名までをまず理事候補とする。ついで、一般投票で選出された理事候補を除いた被選挙人から、年齢別投票で各年齢層の得票順に5名まで（計10名）を理事候補とする。

●欠員が出た場合の繰り上げ

- ・一般投票の当選者に繰り上げが出た場合は一般選挙区での得票順に、年齢別投票の当選者において繰り上げが出た場合は該当する年齢別選挙区での得票順に、順次繰り上げ者を決定する。年齢別選挙区での繰り上げは、一般選挙区での当選者を確定してからとする。なお、次の繰り上げ者が既に理事である場合には、さらに次点の得票者を繰り上げる。

●注

◇年齢による上下二分について

- ・二分位に当たる年齢に複数の被選挙人が存在する場合、年齢下位の方が多くなるように二分する。
- ・年齢の判断は自己申告とし、その生年によって便宜的に年齢を決する。自己申告を得るために、2005年は名簿作成とそのための調査を平行して実施する。
- ・調査において自己申告のない会員には「見なし年齢」を当てはめる。大学院生は年少選挙区所属とし、他はすべて年長選挙区所属と見なす。

◇2005年の調査結果をもって、今後しばらくの間の年齢区分の区切り年齢を固定する。以後の選挙においては、選挙実施前に有権者の確定を行う際に、年齢別選挙区の所属について変更・確認をし、そのときの区切り年齢は2005年に定めた年齢とする。

◇最終的には選挙管理委員長が、各会員の選挙区の所属を決定する

◇選挙において、投票可能な2つの選挙区で同一人物の名前を書いても有効票とする。

◇投票においては3色の投票用紙を用い、混乱を避ける。

池田理事長の提案に対し、次のような指摘がなされ、議論された。

●公選理事が16名から20名へと増えたことに伴い、「理事・幹事候補者選出規程」第1条の理事数を26名に、第2条の投票により選出される理事数を20名へと変更する必要性が指摘された。

●年齢区分について

- ・年齢の自己申告を誤ったり見なし年齢が適用された際に、本来の年齢区分と異なることが判明した場合の扱いについて議論がなされた。これについては、（事務局が）調べられる範囲で正確な年齢を調べることにし、並びに有権者名簿を会員に送付する前に、年齢の間違いなどの異議申し立て期間を設けるなどして対処することになった。

・年齢の自己申告がない場合は、一般選挙区にのみ選挙権、被選挙権が認められることとなった。

●繰り上げ当選について

- ・年齢別投票で上位5位までに入った者が、一般選挙区の繰り上げ当選者となった場合の扱い（どちらの選挙区での当選者となるか？）について議論となった。また、当選者本人および会員に対し、各選挙区の当選者をそれぞれ通知するかも議論となった。
- ・繰り上げ当選者の決定をどの時点までに行うかが議論された。理事・監事は総会の承認を必要とするため、総会の前には全理事・監事候補が出揃ってはいないが、公選理事によって推薦理事を選出する必要があることから、前理事会の第3回理事会までには公選理事が確定する必要が指摘された。そこで、前理事会の第3回理事会が開催される一週間前までに繰り上げ当選者を確定することとなった。

●規程、実施要領の形式について

- ・（和田理事から）年齢区分など投票の具体的な方法については「理事・幹事候補者投票要領」を、欠員が出た場合の繰り上げ方法については「繰り上げ規程」をそれぞれ設けることが提案された。あわせて「理事・幹事候補者選出規程」の第5条5に具体的な投票方法は「理事・幹事候補者投票要領」に定めること、第6条2の後に繰り上げ方法は「繰り上げ規程」で定めることを追加することが提案され、ともに同意を得た。
- ・年齢によって上下二分する方法、年齢の調査方法などは事務局の内規として、投票用紙の様式等は選挙管理委員会の内規として定めることとなった。

以上の議論を受け、次回理事会までに「理事・幹事候補者選出規程」の改訂案、「理事・幹事候補者投票要領」、「繰り上げ規程」の案を成文化し、改めて検討されることとなった。

3. 入会申し込み者・大会希望者の承認について

①入会申し込みについて

- ・以下の3名から入会申し込みがあり、承認された

大山七穂（東海大学）、北山将之（上智大学）、外崎浩子（東北大学大学院）

②退会希望者について

- ・なし

③現在会員数について

- ・上記の移動によって、現在の会員数は合計541名となった。

4. 日本学術会議関係

池田理事長から、他の学会との調整がついたため、本年度は参加を申請しないことが報告された。

5. その他

①韓国選挙学会派遣について

池田理事長から、11/19に開催された韓国選挙学会に山田真裕理事が派遣され、研究報告を行ったことが述べられた。その後、山田理事から報告の様子ならびに韓国選挙学会の状況について報告があった。なお池田理事長から、韓国選挙学会が交流拡大を希望しており、そのた

めにファンドの獲得を予定しているが、日本選挙学会として十分な対応をとることが難しいことから、基本的には断る方向であることが報告された。

②『ニュース・レター』第27号について

- ・安野事務局長から、今月中の発送に向けて作業中であること、ポスターセッションの追加募集、業績調査票、開催校からの案内が同封されることが報告された。
- ・梅川理事から、2005年度大会が愛知万博、日本外科学会と日程が重複するため、ホテルの混雑が見込まれ、早めに宿泊の予約をしてほしいとの報告があった。そこで韓国選挙学会からの派遣報告者については、事務局が予約を代行することになった。
- ・梅川理事から併せて、開催校によるホテル予約状況が報告されたが、大会前日の予約数が十分ではないとの指摘があった。開催校で改めて調整するとともに、大会初日の日程を30分繰り下げることで対応することとなった。

③会費の納入状況について

- ・安野事務局長から538名中308名（57.2%）の会員から会費が納入されていること、会費未納者には12月発送予定のニュースレターで督促することが報告された。

④その他

次回日程：2005年3月8日（火）15:00～

出席者：池田理事長、荒木・岩崎・岩渕・梅川・岡田・川戸・川人・河野・神江・小林・谷・平野・山田・和田の各理事。安野事務局長、今井、小林、堤幹事。